需要拡大プロジェクト【高付加価値化】研究資料　第１号

地域ブランド活用による高付加価値化の取組と今後の展開

―地理的表示等の活用と消費者評価―

目　次

第１章　はじめに　（内藤 恵久）……………………………………………………１

第２章　地理的表示保護制度への登録の効果及び今後の課題
　　―登録産品のアンケート調査による分析―（内藤 恵久・大橋 めぐみ
　　・飯田 恭子・八木 浩平・菊島 良介）…………………………………３

第３章　地域ブランド産品に対するブランド保護制度への期待と効果
　（八木 浩平・大橋 めぐみ・高橋 祐一郎・菊島 良介・内藤 恵久）…18

第４章　地理的表示保護制度に対する小売店バイヤーの認知と評価
　（八木 浩平・菊島 良介・大橋 めぐみ・内藤 恵久）　…………………37

第５章　消費者の認証制度等に対する認知と評価（菊島 良介・伊藤 暢宏・
　　内藤 恵久・大橋 めぐみ・八木 浩平）…………………………………50

第６章　農産物ブランドに対する購買行動の規定要因
　　―『地域ブランド戦略サーベイ（名産品編）』の分析―
　（八木 浩平・菊島 良介）　………………………………………………60

第７章　地域ブランド化の和牛肥育経営体への効果
　　―農林業センサス個票データを用いた分析より―
　（大橋 めぐみ・大呂 興平・飯田 恭子・内藤 恵久・八木 浩平）……75

第８章　おわりに　（内藤 恵久）…………………………………………………85